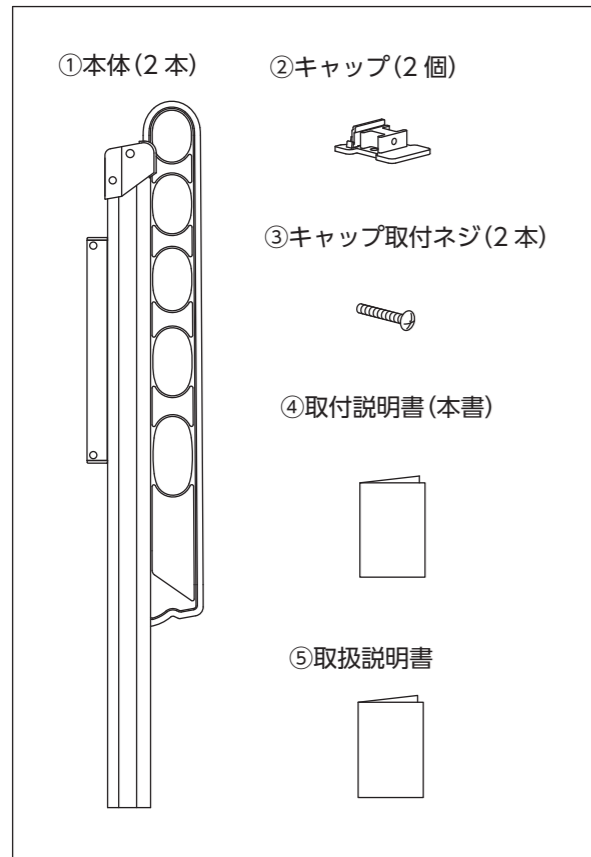


ホスクリーンGP・GPL型 取付説明書

- ⚠ 必ず本書をよくお読みになり、正しくお取付けください。
- ⚠ 非常口、避難ハッチ等の妨げにならない場所にお取付けください。
- ⚠ 高所での作業は部品等の落下に十分ご注意ください。

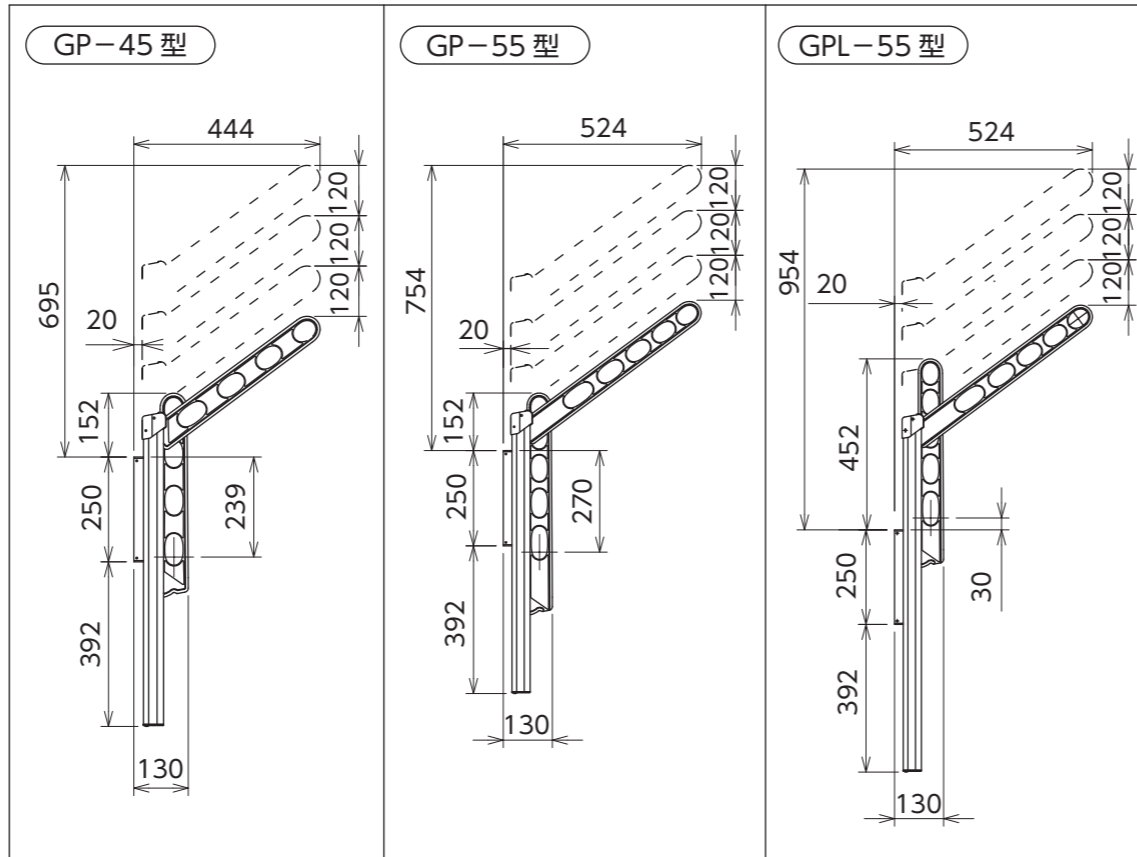
T M-0017-05 22.03

梱包内容 (2本入箱部品一覧)



参考寸法図

単位: m/m

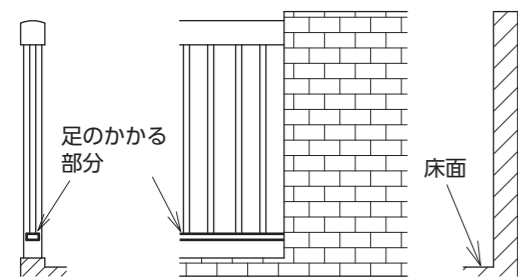


取付上のご注意

- 取付場所・位置
物干金物の取付場所や位置(高さ等)については、図面指定があればそれに従い、ない場合はお施主様との打合せにより決定してください。
構造や取付方法によっては、その場所に下地材を前もって準備しておく必要があります。
- 取付部の強度
使用するネジ等が十分に効く事だけでなく、その他の影響にもご注意ください。
・サイディング材の裏に中空部がある場合、その奥の柱にコーチスクリュー等を効かせようとすると外壁材が破損する場合があります。
・外壁材の縁から近いところに穴あけ・ネジ締め等を行った場合も、ひびが入って後から破損や浸水する恐れがあります。
- 凹凸面への取付け
取付面に凹凸があると、施工時の取付ボルト、ネジの締め付けによってベース本体が歪み、作動に異常をきたすことがあります。段差等がある場合はスペーサー(薄板等)を挟むなど、**段差を埋めてから**取付けてください。
- ネジの長さ
壁材が厚く、取付面から下地材(ネジが有効に効く部分)までが遠い場合は、それに合った長さのネジをご用意いただく必要があります。
- 防水処理
取付ネジ部から浸水があると、柱の腐食にまで進行する恐れがあります。
外壁材などに下穴をあけたら、穴やその周辺にも防水シーリング剤を充填し、浸水しないようにしてください。
物干金物の外周部にシーリングをした場合も、取付ネジ部や物干金物の隙間から浸水がありますので、必ず穴をあけた部分の防水処置をしてください。
- 施工後の洗浄
タイル等の洗浄剤が製品へ掛かると、製品の脱色・樹脂パーツの破損等に繋がる場合があります。
洗浄剤が製品に掛からないように養生をしてください。
- 粉塵等の対策
砂(土)埃、特にコンクリート粉等が付着すると、作動や作動時の音に影響を及ぼします。
お施主様に引き渡しになるまで、粉塵が付着しないよう、充分ご注意ください。
取付け後は、ポールを最下段まで下げてください。コンクリート粉や砂等が本体ポールの裏面レール部分に付着した場合は、水洗い等で落としてください。

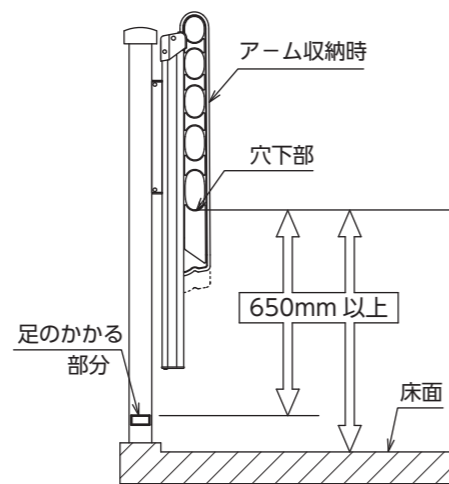
⚠ ご注意!

- 転落事故を防止するため、アーム収納時の穴下部が「足のかかる部分」にならないように極力高い位置に取付けてください。
法律や各種基準では「足のかかる部分」までを650mm以上としています、安全のため800mm以上をおすすめします。

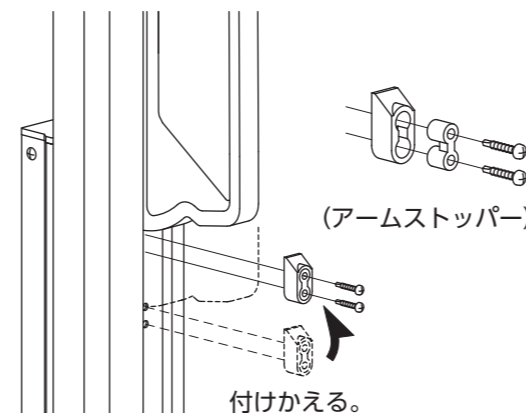


手すり格子の場合は横棧、立上がり壁の場合は床面が650mmの基準になります。

低い位置に取付けざるを得ない場合は… **アームの収納高さが変わります**

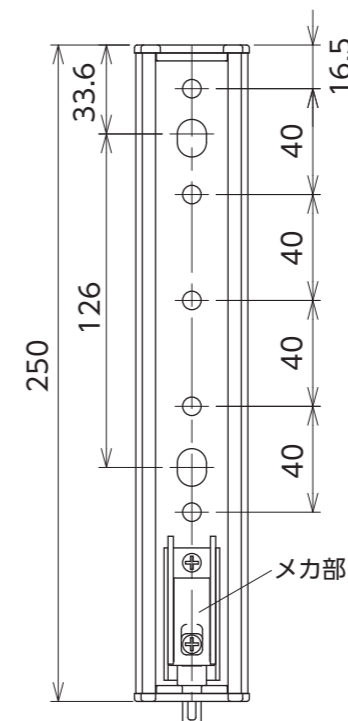


ドリルネジ2本でアームストッパーを適当な寸法の場所に付けかえます。

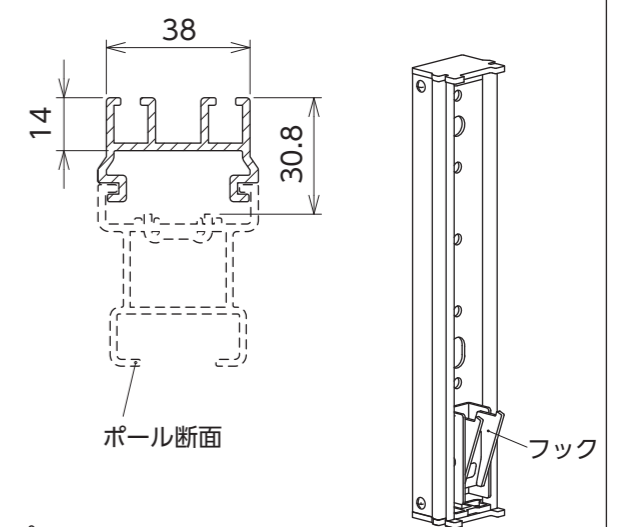


【ベースの寸法】取付方法は裏面をご覧ください。

(ネジ取付ピッチ)



(ベース材断面図)



⚠ ご注意!

ネジやボルトを締め付ける時は、電動工具やスパナ等が、メカ部を破損しないようご注意ください。
特にフックは突起になっておりますので、十分ご注意ください。

ベースの取付方法 (各種取付金具のうち、該当するものをご覧ください。)

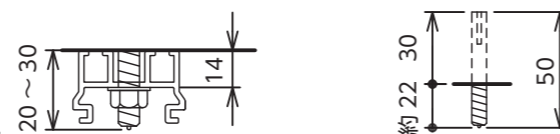
名称	支柱取付パーツ		支柱ハサミ付パーツ		ジカ付パーツ(コンクリート)
記号	HP-1	HP-1B	HP-2	HP-2-DB	HP-5
取付方法	<p>HP-1 …51mmまで M8×75 HP-1B …71mmまで M8×95</p> <p>φ8.5～9mmの貫通穴をあけて、穴にパッキンを貼ってからボルトをゆっくり入れて締付けてください。</p>		<p>※金具自体が足のかかる部分になりますので、金具までの高さを650mm以上にしてください。</p> <p>足のかかる部分</p> <p>35～71mm 35～75mm</p> <p>金具を図のように取付けて、ナットで固定してください。</p>		<p>126</p> <p>M8×25</p> <p>φ12mm、深さ38mmの下穴をあけて、RCアンカーを打ち込み、ボルトで固定してください。</p>

名称	ジカ付パーツ(木造)	支柱ジカ付パーツ	ジカ付パーツ(木造間柱)
記号	HP-6G	HP-12G	HP-13G
取付方法	<p>ホスクリーン GP 型・GPL 型用パーツ</p>		
取付方法	<p>126</p> <p>φ8×100 コーチスクリュー</p> <p>φ6mmの下穴をあけて、コーチスクリューで固定してください。</p> <p>スパナで締付ける場合、取付パーツ同梱の厚座金を使用すると、締めやすくなります。</p> <p>【厚座金寸法】 φ23 7.5</p>	<p>※支柱の厚みは2mm以上が必要です。</p> <p>アルミ厚 2mm以上</p> <p>ベース</p> <p>40 40 40 40</p> <p>テクスネジ φ5×35</p> <p>テクスネジ5本で支柱へそのまま固定してください。</p>	<p>※壁厚が30mm以上の場合は、ネジが木部に25mm以上有効になるようネジL寸を選んでください。</p> <p>30mmまで</p> <p>40 40 40 40</p> <p>ベース</p> <p>TPネジ φ5×75</p> <p>φ3mmの下穴をあけてTPネジ5本で固定してください。</p>

オールアンカー (又は雄ネジタイプのアンカー) をご使用になる場合・・・

オールアンカー M8L50 の例

右図を参考に、雄ネジの先端が20～30mmまでになるよう、アンカーのサイズを決定してください。
ベースの寸法は、おもて面の【ベースの寸法】の項目を、よくご覧ください。



注! 必ずアンカー単体で打ち込んだ後、ベースをナットで取付けてください。

本体の取付方法

①本体からベースを引抜いて 躯体にベースを取付ける。

②ポールをベースに差し込む

メカ部のフックが引っ掛かりますが、ベース下部にあるスイッチを押し、フックを引っ込めてからポールを最後まで差し込んでください。

スライドすると外れます。

ベース

ポールはココに差し込んでください。

ポールの断面

引っ込む。

押す。

ベースの取付けは左表を、よくご覧ください。

③キャップをネジ止める。

キャップをポールにはめ、キャップ取付ネジで、固定します。

キャップ取付ネジ

万が一、金具がキャップから外れていた場合は、金具をキャップの爪にはめ直してください。

金具

向きに注意!

(後ろから見た図)

④作動確認をする。
各動作の確認をしてください。
(操作方法は本体ポール貼付けのシールを参照してください。)

35°

収納

操作ボタン

取付け後の作動検査の時は静かに作動させてください。ポールを落下させるような衝撃を加えると故障の原因になります。
※必要に応じて、アームの収納高さを調整してください。おもて面の

アームの収納高さを変えられます

の項に詳しく記載してあります。

【取付け後の点検】
最後に、製品が確実に取付いていることを必ず確認してください。

以上で完成です。

※別紙の取扱説明書は、必ず御施主様にお渡しください。